

報道関係者各位

TBM と清水建設、建設現場から排出された 廃プラスチックの材料リサイクルを行い、再生材由来のカラーコーンを再製品化 ～アクセラレータープログラムによる協業事例を創出、建設現場発のサーキュラー・エコノミーを推進～

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、清水建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上和幸、以下清水建設）と協業し、建設現場におけるサーキュラー・エコノミーの推進を目的に、建設現場から排出された廃プラスチックを回収、材料リサイクルを行い、再生材由来のカラーコーンを再製品化したことをお知らせします。

建設現場から排出された廃プラスチックの
材料リサイクルを行い、
再生材由来のカラーコーンを再製品化



T B M SHIMIZU CORPORATION
清水建設

■ 背景

2022年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されるなど、廃材の再生利用が強く求められるようになっていきます。一方、建設現場から排出される廃プラスチックのリサイクルでは、廃棄物を焼却して熱エネルギーを回収するサーマルリサイクルに取り組むケースが多く、廃棄物を新たな製品の原料として再生利用する材料リサイクルは十分に進んでいないのが現状です。

TBMは、国内最大級の材料リサイクルプラントの運営や、全国で250社を超えるリサイクルパートナーとの連携を通じたプラスチックの回収及び再生プラスチックの販売、再生材「CirculeX（サーキュレックス）」を使用した製品企画、東南アジアを中心とした再生プラスチックの海外販売に取り組んでいます。2021年から取り組んでいる再生材等のマッチング事業は、2023年度で年間3.4万t規模での取引実績が生まれています。

■ 取り組みの概要

今回の取り組みは、清水建設主催の2022年度アクセラレータープログラム「SHIMZ NEXT」にて、TBMが採択企業に選定されたことで実現した協業事例です。

（「SHIMZ NEXT」概要はこちら）<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2023/2022071.html>

第 1 弾として、清水建設が施工を手掛けた物流施設（神奈川県相模原市）の建設現場で使用された外壁保護フィルムの残材を回収して、TBM が運営するリサイクルプラント「横須賀サーキュラー工場」にて再資源化し、再生材由来のカラーコーンを製作しました。今回マテリアルリサイクルによって生まれた 500 個のカラーコーンは、完成した同施設の運営備品や清水建設の建設現場用の資材として使用されています。

今後、TBM は清水建設と、多様なプラスチックの廃棄物についてもマテリアルリサイクルを推進し、建設現場発のサーキュラー・エコノミーの促進に向けて連携していきます。



■ 株式会社 TBM

代表者 : 山崎 敦義

所在地 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年 8 月

資本金 : 1 億円 (資本準備金含み、120 億 3546 万円 / 2023 年 12 月末時点)

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

* 本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 TBM

コミュニケーション本部 広報・マーケティング部 担当：菊田

資源循環事業本部 Maar 事業部 担当：進藤

メールアドレス : pr@tb-m.com / お問い合わせフォーム : <https://tb-m.com/contact/>